

⑩ 南阿蘇村 新所^{しんしょ}（土石流危険渓流外の0次谷）（流域面積：0.04km²）

本地区の土砂移動現象は以下の通りであったと推定される。

- ・ 林道の路肩を源頭部とする崩壊が発生した。
- ・ 崩壊斜面下部に待受擁壁が存在し、ほとんどの土砂が捕捉された。



写真. 崩壊地頂部の林道路肩の破損状況(図中①)



写真. 崩壊地源頭部の状況



写真. 崩壊地頂部の状況

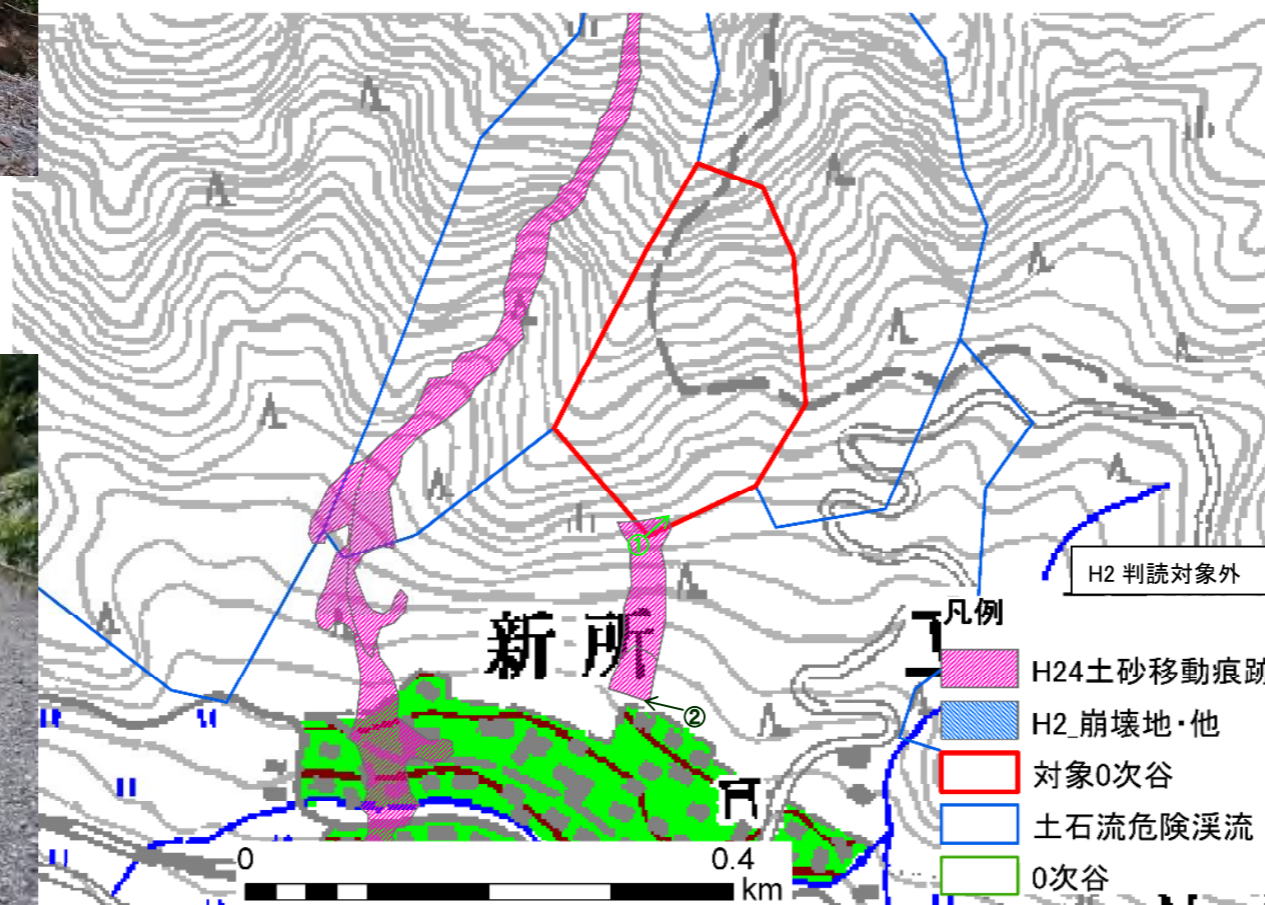


図 4.2-10 新所 0次谷平面図



写真. 崩壊地末端における待受擁壁の状況(図中②)

⑪ 阿蘇市 阿蘇町 上の小屋川5 (土石流危険渓流 422-II-009) (流域面積: 0.14km²)

本地区の土砂移動現象は以下の通りであったと推定される。

- ・ 林地を源頭部とする崩壊が発生した。
- ・ 崩壊を源頭部とする土石流により生じた土砂のほとんどは、6基連続施工された谷止工の内の4基により捕捉された。
- ・ 谷止工下流の河道においては、河道内の土砂の再移動が生じているが、谷出口の道路においては、土砂の流出痕跡は認められない。
- ・ 従って、本溪流では対策工の効果により災害が抑制されたと考えられる。



写真. 谷出口の状況(土砂の流下痕跡無し)



写真. 谷止め工下流の河道

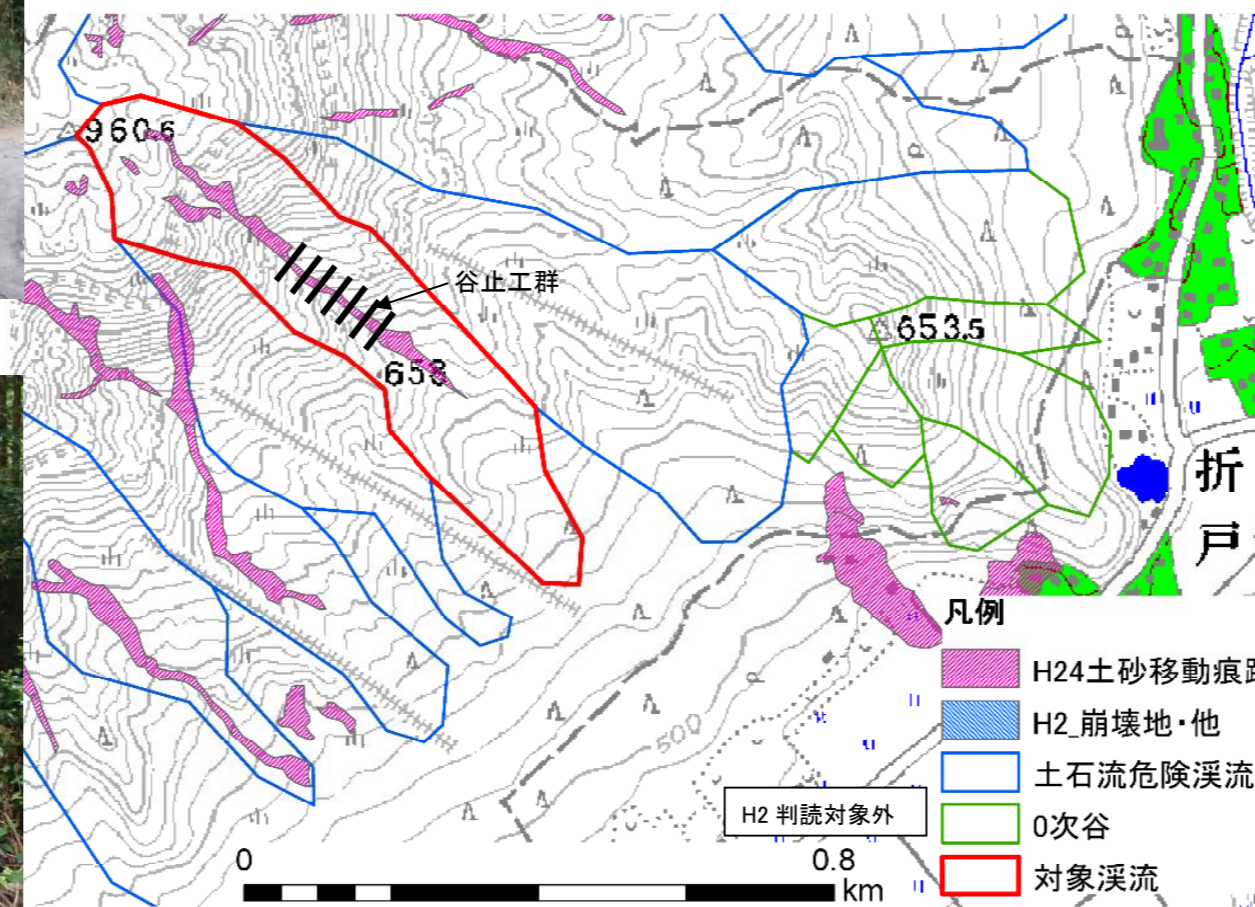


図 4.2-11 上の小屋川5 平面図



写真. 崩壊地源頭部遠景



写真. 谷止工による土砂・流木の捕捉状況